

〔『法学新報』第25巻8(289)号 大正4年8月30日〕

○岡村中央大学前学長への記念品贈呈 中央大学前学長岡村法学博士は創立以来同業の爲めに尽瘁せられ且つ先年奥田博士文相就任の際病氣静養中なりしに拘はらず同志の懇請を容れ奮て学長と爲り経営の任に当られたるも遺憾ながら昨年復た病の爲めに辞任せらるるの余儀なきに至りたれば同人之を惜み其功勞を記念せんと議成り伊藤悌治、石山弥平、伊藤秀雄、岩崎鉄次郎、伊藤久次郎、稲田周之助、石原毛登馬、井上敬吉、乾喜代八、馬場恩治、原嘉造^(道)、花井卓藏、林頼三郎、穂積陳重、鳥居錦次郎、富田祐太郎、豊島愿、奥田義人、岡野敬次郎、太田資時、大場茂馬、大久保雅彦、岡田宇之助、太田団野、尾崎利中、小倉敬止、大橋樹太郎、小栗盛太郎、渡辺勘十郎、金井延、河島台藏、河野秀男、川上定次郎、龜山要、高橋捨六、田中隆三、田中文藏、武田明、武田鬼十郎、高野兵太郎、中橋徳五郎、中山佐市、中川銑三郎、中島信夫、村田不二三、卜部喜太郎、内田清吉、窪田欽太郎、八木橋栄吉、前田久次郎、藤田隆三郎、藤井乾助、古田良三、二見友三郎、小松林藏、小林勝民、小町谷純、江木衷、永滝久吉、寺島元重、新井要太郎、佐藤正之、佐藤博愛、佐柳藤太、左右田信二郎、柵瀬軍之佐、佐藤三吾、佐伯彪、岸清一、喜多孝治、木戸梅藏、三宅碩夫、三浦大五郎、

宮地正彰、塩谷恒太郎、執行軌正、土方寧、日能偕太郎、森本邦治郎、森彦逸、瀬下清通、杉山虎雄の八十二氏相共に金円を醸出し塩谷恒太郎、三宅碩夫の両氏に一切を託せしか両氏の尽力に依り銀製茶器一具に同菓子器と小川一真氏の苦心に成る博士の大形写真二面(一面は博士邸に、一面は東京弁護士会館に)とを添へて先月之を博士に贈呈したり該茶器に鐫りたる劍堂細田謙藏氏の選文左の如し

建学秉鐸。二十余年。力疾就任。山長清班。厥名輝彦。厥姓岡村。董督職修。教誨道宣。茲逢卸任。追慕奚堪。照像両面。茗器一箱。薄奉左右。式志謝忱。

大正乙卯

中央大学同人敬具